



平成 28 年 3 月

# 米沢市文化財年報 No.28

米沢市教育委員会



▲国史跡館山城跡全景（東から撮影）

平成 22 年度より国史跡指定を目指して発掘調査を進めてきました「<sup>たてやまじょうあと</sup>館山城跡」が、平成 28 年 3 月 1 日付けの官報告示で国史跡の指定を受けました。本市では上杉治憲敬師郊<sup>はるのりけいしこう</sup>迎跡、米沢藩主上杉家墓所、<sup>いちのさか</sup>一ノ坂遺跡、<sup>ふるしだひがし</sup>古志田東遺跡に続いて 5 件目の指定となり、山形県内の史跡では 28 件目となります。

館山城跡は、伊達氏が米沢を本拠として<sup>ほんと</sup>版図を拡大した頃の政治的・軍事的な拠点となった城館の 1 つであるとともに、山城と同時期の山麓居館跡（<sup>さんろくきょかん</sup>根小屋）が良好な状態で残されています。東北地方南部の有力大名の城館構造だけではなく、中世社会の動向を知る上で重要な城跡と評価されました。また、近年の発掘調査によって上杉氏による<sup>ふしん</sup>普請も確認され、中世の山城が近世城郭へ<sup>へんぼう</sup>変貌しようとしていたこともわかってきました。

今後、米沢市の新たな歴史遺産として整備・活用し、より多くの方々に足を運んでいただけるよう、保存整備事業を進めていく予定です。

## 一般文化財事業

一般文化財事業では、今年度も継続事業が中心でしたが、例年どおり多岐にわたる事業を実施しています。以下、特に重点を置いた事業について紹介します。

### 【国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院庫裏)保存整備事業】

上杉治憲敬師郊迎跡<sup>はるのりけいしこうげい</sup>は、米沢藩9代藩主上杉治憲<sup>ようざん</sup>(鷹山公)が師の細井平洲<sup>へいしゅう</sup>先生を郊迎した地として、昭和10年に国の史跡に指定されています。今年度は、普門院庫裏<sup>ふもんいんくり</sup>工事の4年目となりました。保存修理工事は木工事や屋根工事を中心に進め、茅屋根葺きが進んだことで、現場では完成が近づいていることを実感できるようになってきました。また、今年度は活用事業として保存修理工事の現場見学会を開催し、併せて来跡者に保存修理工事の様子を伝える展示パネルを製作しました。見学会には過去最多の約40名が参加し盛況でした。パネルはこれまでの4年間の工事内容をまとめており、来跡者に保存修理工事の工程をわかりやすく伝えています。

来年度以降も保存修理工事と併せて、活用事業についても積極的に行い、来跡者に史跡のことを知ってもらう機会を増やすことができると考えています。

### 【山形県史跡整備市町村協議会総会・研修会】

山形県史跡整備市町村協議会(県史協)は、平成24年度に県内35市町村すべてが参加して設立されました。4年目となる今年度の総会・研修会は、初めて置賜地域での開催となり、米沢市が会場となりました。

総会と研修会の第一部は伝国の杜大会議室にて行われ、研修会第一部では文化庁の禰宜田佳男<sup>ねぎたよしお</sup>主任文化財調査官に「史跡の現状と課題—ハードとソフト—」と題して講演をいただきました。第二部は、今年度中に国指定史跡となる予定の館山城跡に場所を移しての現地見学会となりました。総会・研修会には、県内の文化財行政担当者を中心に約50名が参加し、史跡整備の具体的な事例などから、史跡の整備・活用について見識を深めることができ、県内の文化財担当者同士の交流を図ることができました。

### 【国指定重要有形民俗文化財「行屋」保存修理事業】

農村文化研究所の所有する「置賜<sup>とほいしゅうぞくようぐ</sup>の登拝習俗用具及び行屋<sup>ぎょうや</sup>」は、置賜地方で大正時代頃まで行われていた豊作祈願や成人儀礼のために利用されていたものであり、平成9年に国の重要有形民俗文化財に指定されています。

今年度、保存修理工事を実施した行屋Ⅱ号棟は、壁面のき損が目立ち、従来は茅葺だった屋根がトタン屋根となっているなど、文化財としての価値を復する措置が必要でした。保存修理事業は、国・県・市からの補助事業として農村文化研究所が実施しました。文化庁の指導も受けながら、き損の補修と茅葺きを中心とした保存修理工事は無事に竣工し、行屋Ⅱ号棟は往時の姿を取り戻しました。今後は行屋を活用した事業も期待されます。

上記の以外にも例年通り、市指定史跡「直江石堤<sup>なおえせきでい</sup>」・「戸塚山古墳群<sup>とつかやま</sup>」の草刈・雑木除去や国指定史跡への管理補助事業、県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊り<sup>ずさやま</sup>」への補助事業を行っています。また、上杉神社の指定文化財の調査や文化財指定候補の調査なども実施しました。

この他、市街地への出没が増加傾向にあるカモシカへの対応にも苦慮しているところですが、今後とも文化財保護へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 一般文化財事業



▲普門院庫裏屋根工事



▲普門院庫裏保存修理工事現場見学会



▲普門院庫裏工事を紹介したパネル



▲県史協総会



▲禰宜田主任調査官の講演（県史協）



▲館山城跡での現地研修会（県史協）



▲行屋Ⅱ号棟保存修理工事の様子（修理前）



▲竣工した行屋Ⅱ号棟

## 埋蔵文化財事業

本年度の埋蔵文化財に関する発掘届及び確認調査の依頼件数は、平成 28 年 2 月 28 日現在で 45 件、重要遺跡の保存目的調査 2 件を含めると 47 件となりました。これらのうち、主な調査成果について紹介します。

### 【館山城跡保存整備事業】

国指定史跡とその後の保存整備を行う館山城跡保存整備事業は、6 年目を迎えました。今年度は 7 月に国史跡指定の意見具申書を文化庁へ提出し、11 月 20 日に開催された国の文化審議会での答申を経て、本市で 5 件目の国指定史跡となりました。9 月には今後の整備にむけた範囲・内容確認の発掘調査も継続して実施しております。また、館山城跡ガイドブックを作成・販売し、史跡の現地案内も数多く引き受けるなど、普及活動も積極的に行いました。

館山城跡については、文化財特集でもまとめていますので、併せてご覧ください。

### 【戸塚山古墳群の調査（市内遺跡発掘調査等事業）】

戸塚山古墳群の調査は 7 年目となりました。今年度も、国史跡指定に向けた範囲確認調査を継続的に実施しました。

調査は、平成 25 年度から継続している小山支群 B 区 M 201 号墳の最終的な調査を行いました。調査の結果、新たに墳丘裾部に列石を伴い、一部に貼石が行われている可能性があるなど、これまで戸塚山古墳群の調査で知られている墳丘構造とは異なる様相が確認されました。

遺物の出土状況や年代差から、7 世紀第 3 四半期から 8 世紀第 2 四半期にかけて少なくとも 3 回の埋葬が行われている可能性があります。

### 【大南遺跡の調査】

大南遺跡は、置賜広域行政事務組合の浅川最終処分場整備事業に伴う試掘調査で新たに確認された遺跡です。調査の結果、縄文・古墳・奈良・平安・中世の複合遺跡とみられ、大規模な遺跡であることが判明しました。平成 28・29 年度で記録保存を前提とした緊急発掘調査を実施する予定です。

戸塚山古墳群とも近く、米沢市の新たな歴史的一幕が明らかになると期待されます。

### 【米沢城跡の調査】

米沢城跡は、伊達氏から上杉氏に関わる城館として旧城下町を中心に広い範囲が埋蔵文化財包蔵地となっています。

今年度、城南一丁目の個人住宅建設に関わる確認調査の結果、工事によって影響を受ける遺構・遺物が確認されたため、緊急発掘調査を実施しました。調査の結果、掘立柱建物跡 2 棟をはじめ、溝跡、土坑、柱穴などを確認しました。

出土遺物は 16 世紀後半から 18 世紀代の陶磁器類が出土しており、謎の多い伊達・蒲生時代の城下の広がりを確認することができました。

今年度は館山城跡が国指定史跡となった節目の年となりました。来年度以降は、大南遺跡の緊急発掘調査への対応を中心に、史跡の整備や活用に向けた普及啓発事業にも力を入れていく予定です。今年度の事業にご協力を賜りました関係者の皆さまに御礼申し上げますとともに、今後とも埋蔵文化財保護へのご理解とご協力をお願いいたします。

## 埋蔵文化財事業



▲館山城跡の発掘調査



▲館山城跡発掘調査現場一般公開風景



▲戸塚山古墳群M 201号墳の発掘調査



▲戸塚山古墳群M 201号墳出土遺物



▲大南遺跡の試掘調査



▲米沢城跡の発掘調査



▲米沢城跡出土遺物



▲埋蔵文化財資料室の見学風景(窪田小6年)

## 《第4回文化財事業特集》

今回の特集では、国指定史跡となった<sup>たてやまじょうあと</sup>館山城跡について紹介します。

### ○館山城跡とは

館山城跡は、米沢市西部の館山・口田沢地区に所在する<sup>やましろ</sup>山城を中心とした<sup>じょうかん</sup>城館跡です。南側<sup>おおたる</sup>の大樽川、北側<sup>こたる</sup>の小樽川を堀として利用した天然<sup>ようがい</sup>の要害です。山城の麓<sup>きただて</sup>にある<sup>ひがしだて</sup>北館・東館と呼ぶ平坦地では、山城と同時期の居住空間<sup>ねごや</sup>（根小屋）を発掘調査で確認しています。

なお、館山城の範囲は大樽川<sup>おも</sup>・鬼面川の東側にも広がるとみられ、発掘調査で出土した遺物と文献史料の検討から、16世紀前半頃に地元有力者の新田氏に関わる城館として山城と山麓<sup>さんろく</sup>居館が成立し、<sup>てんしょう</sup>天正年間（1573～1592）後半に行われた伊達輝宗や政宗による普請<sup>ふしん</sup>によって城域が拡大したと考えています。さらに、発掘調査で新たに見つかった石垣は、<sup>けいちょう</sup>慶長5年（1600）に起きた関ヶ原の戦い以降にみられる技術が用いられており、上杉氏によって普請されていることがわかりました。

以上のことから、館山城跡は本市ゆかりの戦国大名伊達氏・上杉氏に関わった城館跡で、激動の中世戦国期から近世への過渡期の様相を刻み込んだ歴史遺産といえます。



▲館山城跡で発見された石垣

### ○国指定史跡とは？

<sup>しせき</sup>史跡とは貝塚、古墳、都城跡、城跡旧宅等の遺跡で我が国にとって歴史上または学術上価値の高いものを指し、そのうち国が保護を図っているものをいいます。史跡等に指定されたものについては、現状を変更し、あるいはその保存に影響を及ぼす行為をしようとする場合、文化財保護法の規定により文化庁長官に許可を得る必要があります。

今回の指定は館山城の全域ではなく、山城と山麓居館のうち条件の整った部分が指定されています（指定面積：63,367.29㎡）。

### ○これからの国史跡「館山城跡」

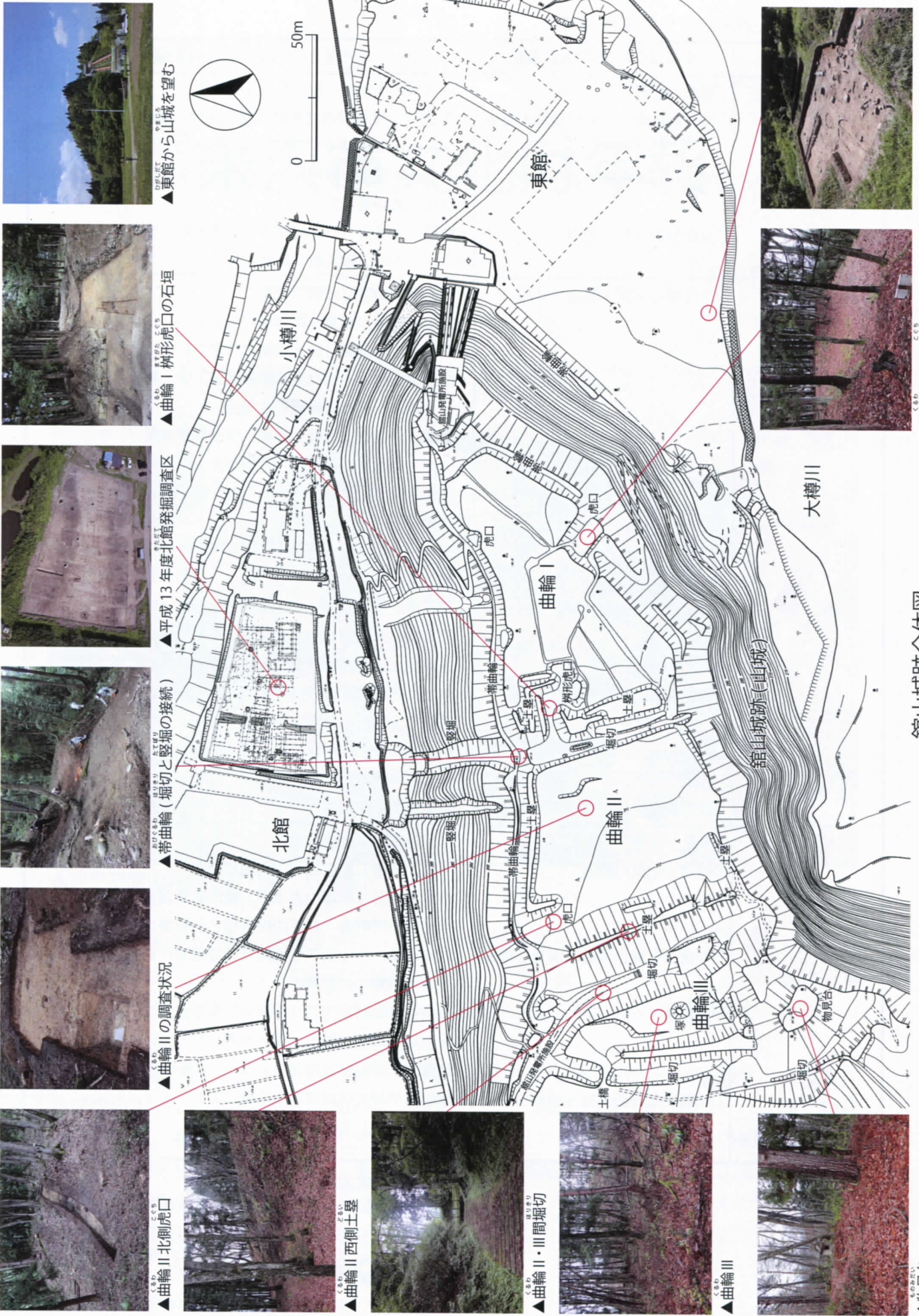
国史跡に指定されたことで、ひとつの目的を達成することができましたが、これで終わりではありません。本市だけにとどまらず、日本を代表する史跡として評価された歴史遺産の保護を図りながら、その歴史的意義や価値を後世に伝えていかななくてはなりません。そのためには、より多くの方々に国史跡「館山城跡」知っていただきたいと考えています。



▲「館山城跡」ガイドブック

昨年度作成した調査報告書の概要版（「館山城跡」ガイドブック）の活用・販売をはじめ、平成28年度は指定記念の展示や講演会等も実施して、みなさまに館山城を知っていただく多くの機会を提供していきます。また、現地では案内板や説明板の充実を図っていきます。

最後になりますが、地権者の方々、館山城保存会の方々をはじめ、多くのご理解・ご協力の賜物でここに至ることができました。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



館山城跡全体図



▲東館から山城を望む



▲曲輪 I 林形虎口の石垣



▲平成 13 年度北館発掘調査区



▲帯曲輪 (堀切と縦堀の接続)



▲曲輪 II の調査状況



▲曲輪 II 北側虎口



▲曲輪 II 西側土塁



▲曲輪 II・III 間堀切



▲曲輪 III



▲物見台



▲庭園状? 遺構



▲曲輪 I 南側虎口

平成 27 年度 米沢市文化財関係事業

| 区 分      | 平成 27 年度の重点事項  | 平成 27 年度の主な事業報告   |
|----------|--|---|
| 1. 文化財共通 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業の記録</li> <li>○文化財に関する諮問機関の開催</li> <li>○文化財行政推進大会への参加</li> <li>○文化財の普及・教育</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「米沢市文化財年報」No.28の発行</li> <li>・平成27年度米沢市文化財保護審議会の開催<br/>(第1回H27.7.21 第2回H28.3.24)</li> <li>・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会への参加<br/>(山形県鶴岡市)</li> <li>・埋蔵文化財資料室・史跡等の見学対応、米沢チャレンジウィークの受け入れ(南原中)</li> </ul>   |
| 2. 一般文化財 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の保護・調査・活用</li> <li>○指定文化財保存管理の充実</li> <li>○指定文化財環境整備の促進</li> <li>○無形民俗文化財後継者の育成</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上杉神社指定文化財の調査</li> <li>・文化財候補の調査(関興庵)</li> <li>・文化財巡回指導(国・県指定文化財)</li> <li>・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」保存修理事業の継続<br/>(8年目、普門院庫裏の4年目)</li> <li>・重要有形民俗文化財「行屋」保存修理事業</li> <li>・国指定特別天然記念物「カモンカ」の保護</li> <li>・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」の保護調査</li> <li>・文化財防火デー(法音寺・羽黒神社・善光寺)</li> <li>・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理</li> <li>・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」及び同「米沢藩主上杉家墓所」の管理等に係る補助</li> <li>・県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」に係る補助</li> <li>・指定文化財説明板の修繕(古志田東遺跡・西明寺のトラノオモミ)</li> <li>・国指定史跡「一ノ坂遺跡」及び市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」の環境整備(草刈・雑木除去等の実施)</li> <li>・県指定無形民俗文化財「粹山獅子踊」保存会への補助</li> </ul> |
| 3. 埋蔵文化財 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財指定</li> <li>○埋蔵文化財の調査</li> <li>○埋蔵文化財の情報収集及び周知</li> <li>○報告書の作成</li> <li>○埋蔵文化財の保存・活用・普及</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「館山城跡」国史跡指定</li> <li>・「館山城跡」範囲及び内容確認調査</li> <li>・市指定史跡「戸塚山古墳群」範囲確認調査(M201号墳)</li> <li>・中世城館跡調査(斜平山保活協との協働)</li> <li>・開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査</li> <li>・大南遺跡の試掘調査及び開発に係る調整</li> <li>・米沢城跡の発掘調査(個人住宅)</li> <li>・埋蔵文化財調査報告書第109～110集の刊行</li> <li>・米沢市埋蔵文化財資料室の維持管理</li> <li>・『館山城跡』ガイドブックの販売</li> </ul>   |

発行 米沢市教育委員会

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号

教育管理部 文化課 文化財担当

TEL 0238 - 21 - 6111 (内線 7530、7531)

FAX 0238 - 21 - 6020

E - mail : bunka-ka@city.yonezawa.yamagata.jp